

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12422	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単位	2単位
科目コード 102010	科目名 マーチャンダイジング論 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 佐々木貞夫	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- 1、数字を読み解く力をつける
- 2、数字を作る力をつける
- 3、理解し、その場で発表するスキルをつける。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

通期の大きなテーマ

- 3コマ MDの仕組み・重要性について知る・学ぶ
- 3コマ 数値設計がもたらすものを知る
- 7コマ リサーチ⇄レポートの流れを掴む
- 2コマ レポートを元にプランニングする力を養う
- 4コマ MDの職務範囲・職務後を知る
- 8コマ 実際にMDプランを組み立てる

前期

授業内容

あなたにとってMDとは?なぜ重要なのか?

MDが把握すべき数値の種類1(マクロ→ミクロ)

MDが把握すべき数値の種類2(ミクロ→マクロ)

MDが把握すべき数値の種類2(売上、コスト、利益)

数字がもたらすものを考える(数字の見方、定点観測、Apple to Apple)

日本のブランドをリサーチしてみよう

リサーチを元に架空のプランニング

架空MDプランニング(前売り編)

架空MDプランニング(粗利編)

架空MDプランニング(在庫管理編)

数字で知るアパレル経済圏

中間テスト(3択)

後期

振り返りとワークショップ

授業内リサーチ・数値が支える企業活動

MKTクラスのIGアカウントを数値で見て分析する

<p>市場調査（校外を予定）</p> <p>レポート発表</p> <p>IG アカウントでの架空 MD 開始 1</p> <p>チーム発表</p> <p>架空 MD プランニング（3チャンネル編）</p> <p>架空 MD プランニング（シーズナル編）</p> <p>架空 MD プランニング（シーズナル編）</p> <p>IG アカウントでの架空 MD2</p> <p>“Project Your Brand” 途中経過</p> <p>市場調査（校外を予定）&架空 MD プランニング</p> <p>レポート発表</p> <p>プレゼンに向けたチームワークショップ</p> <p>期末テストとプレゼン</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出席 10%</p> <p>残り 90%の内訳</p> <p>課題 30% 通期プロジェクト 50% 期末テスト 20%</p>

<p>主要教材図書 服飾図鑑・ファッション情報誌・ファッションキーワードなど</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料 教材専用プリント類・リソースセンター映像ルームコレクション映像など</p>
<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>特徴</p> <p>国内外のアパレルにおいて、デザイン、MD、経営と携わってきた経験と、現在もコンサルタントとしてルミネブランドや上場アパレルと仕事をしているその生の声を届け、現在のアパレルビジネスにおいて必要とされる人材を MD という職種から学べます。</p> <p>紹介</p> <p>米国 NY のパーソンズ・スクール・オブ・デザイン卒業後、株式会社ファイブフォックスにてデザイナーとしてキャリアをスタート。</p> <p>その後、株式会社メルローズ、株式会社バロックジャパンリミテッド、合同会社西友（ウォルマート）でブランド運営、商品開発・デザイン、MD 数値設計及び分析、マーケティング業務を歴任。</p> <p>2013 年より米国トミーバハマの日本進出を手掛け、コーポレート機能の設立に携わる。</p> <p>日本オリジナルの商品開発を軸としてローカライズを行い、外資アパレルにとって激動であった当時のビジネスを牽引した。</p> <p>2017 年より同社日本支社長歴任。</p> <p>2021 年より、THERIST 株式会社設立、同社 CEO・代表取締役就任。</p>

<p>記載者氏名 佐々木貞夫</p>

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 1242	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科 2年	単 位	14 単位
科目コード 104~107	科目名 アパレル造形	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 花田 浩朝	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

商品としての服作りを意識し、シーズンごとのコンセプトやターゲットをもとに作品を制作する。人体の構造や運動機能を視野に入れ平面裁断、立体裁断のテクニックを習得し、デザイン発想力と表現力を養う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

・アパレル造形 論 2単位

・アパレル造形演習 デザイン 4単位

・アパレル造形演習 実技 6単位

・アパレル造形演習 ドレーピング 2単位

1、シーズン表現Ⅰ [45コマ] 一重仕立てのアウトターとボトムをコーディネートで制作

作図理論解説(3種)、作品テーマの設定、コンセプトマップ作製、デザイン発想指導、パターン作製指導
縫製指導、部分縫い指導(2種)、レポート作成

2、立体裁断Ⅰ [20コマ]

タイトスカート、セミフレアスカート。フレアスカート

ショルダーダーツ、ウエストダーツ、胸ぐせのバリエーション

3、シーズン表現Ⅱ [50コマ] ウールを使用したアウトターとボトムをコーディネートで制作

作図理論解説(3種)、作品テーマの設定、コンセプトマップ作製、デザイン発想指導、パターン作製指導
縫製指導、部分縫い指導(2種)、レポート作成

4、立体裁断Ⅱ [17コマ]

シャツカラーのブラウス、スタンドカラー、フラットカラー

5、シーズン表現Ⅲ (修了制作) [73コマ]

作図理論解説(2種)、作品テーマの設定、コンセプトマップ作製、デザイン発想指導、パターン作製指導
縫製指導、部分縫い指導(2種)、レポート作成

【評価方法】

・アパレル造形論・・・筆記試験100% ・ドレーピング・・・製作物50%、実技試験30%、授業姿勢20%

・デザイン・実技・・・製作物70%、レポート10%、授業姿勢20%

主要教材図書 服飾造形講座 スカート・パンツ、ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、コート・ケープ
高級素材、特殊素材、立体裁断基礎編

参考図書 情報誌

その他資料 参考標本、プリント

授業の特徴と担当教員紹介

作品はコンセプトやイメージモデルを設定し、テーマに沿って制作をする。

立体裁断は基本に時間をかけ、布目の流れやパターンの基本構造を理解させる

担当教員紹介・・・アパレル造形を主に指導。約15年マーチャンダイジング科を担当。

記載者氏名 西平 孝子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 インダストリアル MD 科 2 年	単 位	1
科目コード	科目名 生産管理概論	授業期間	前期

担当教員(代表) : 井戸川 倫也	共同担当者 :
-------------------	---------

科目概要
 アパレル産業の生産プロセスを、縫製工場とアパレルメーカーの双方から捉え、工業生産についての理解を深めることを目標とする。また、縫製仕様書や加工・裁断・芯貼り指図書や工程分析表などの作成を通して、生産情報の伝達・管理手法や量産的な考え方を学習し、基礎レベルの習得を目指す。

授業概要

I. ガイダンス (1コマ)
 ① 授業概要 (提出物・試験・評価方法 等)
 ② 生産管理とは
 ③ アパレル産業の現状

II. 工業生産と生産プロセスの概要 (3コマ)
 ① 工業生産とは
 ② アパレル生産の概要とフロー

III. 生産指示書概要 (4コマ)
 ① 加工・裁断・芯貼り指図書
 ② 縫製仕様書
 ③ 工程分析表
 ④ 各自の工程分析表の作成演習

IV. アパレル製品の品質と標準化 (2コマ)
 ① 品質とは
 ② 縫製不良
 ③ 標準化への各種取り組み

V. 試験対策 (1コマ)
 ① 試験範囲と内容について

VI. 製造原価 (1コマ)
 ① 原価とは
 ② 製造原価計算

VII. 海外生産と貿易 (1コマ)
 ① 海外生産の概要
 ② 貿易におけるプロセスとキャッシュフロー

VIII. 試験解答 (1コマ)
 ① 試験解答の実施

評価方法・対象・比重
 出席率 (30%) + 提出物 (30%) + 筆記試験 (40%)

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 プリント配布

授業の特徴と担当教員紹介
 アパレル産業の生産プロセスと工業生産を理解することができる。担当教員は文化服装学院専任講師。

記載者書名欄 井戸川 倫也

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 1242	科名 インダストリアルマーチャндаイジグ科 2年	単 位	2 単位
科目コード 122~123	科目名 自由研究Ⅱa/Ⅱb	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 花田 浩朝

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル造形のカリキュラムを応用発展させ、カリキュラムの特色を生かしたコンセプトの設定や発表のを行う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

自由研究Ⅱa (13コマ)

学生それぞれが服飾に関して関心をもっていることをさらに深めて研究し資料作成をする。
さらにプレゼンテーションを行う。

自由研究Ⅱb (13コマ)

修了制作ショーにおいて各パートの活動運営に参加する

【評価方法】

評価認定(P)

学業姿勢、出席状況により

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

を

授業の特徴と担当教員紹介

各自が関心を持つことを研究し資料としてまとめる。

作品完成後の発表法(プレゼンテーション、ショー)にあわせて準備運営を行う

担当教員紹介・・・アパレル造形を主に指導。約15年マーチャндаイジグ科を担当。

記載者氏名 花田 浩朝

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12422	科名	インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単位	2
科目コード	600910	科目名	ファッションマーケティングI	授業期間	通年

担当教員(代表)：佐々木貞夫	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など	
1	マーケティングと社会の関わり方を知る、学ぶ
2	自分で考えて、実際にやってみて知識を得る
3	ワークショップを通じ、その場で考えて、発表する集中力・能力を磨く

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先	
通期の大きなテーマ	
3コマ	アパレル企業とマーケティングの仕組み・重要性について知る・学ぶ
3コマ	マーケティング=ブランディングの観点を磨く
7コマ	調査⇨レポートの流れを掴む
2コマ	ヒトハコモノの組織関係、チームワークを捉える
4コマ	世界的トレンドであるSDGs思考に入り込む
8コマ	実際にブランディング=マーケティングを組み立てる
前期	
授業内容	
マーケティングって何？(授業内定義、トレンド)	
マーケティングって何？(ファッションにとってのマーケティング)	
マーケティングって何？(マーケティングプロツール1) & IGアカウント開始	
マーケットイン・プロダクトアウト	
マーケティングプロツールを使って見るブランディング	
企業マーケティングの歴史を探る	
ヒトハコモノ(チームワークビジョン)	
ヒトハコモノ(リサーチとレポート)	
SDGsを知る1	
SDGsを知る2(IGに組み込む)	
ターゲットマーケティングとリブランディングの重要性1	
中間テスト(3択)	
後期	
IGアカウントリトライ	
授業内リサーチ・SDGsとアパレル1	
授業内リサーチ・SDGsとアパレル2(構築)	
市場調査(校外を予定)	
レポート発表	

<p>IG アカウント (トライアル1)</p> <p>IG アカウント (トライアル2)</p> <p>IG リブランディング</p> <p>マーケティングって何? (マーケティングプロツール2)</p> <p>IG アカウントマーケティング効果最大化1</p> <p>IG アカウントマーケティング効果最大化2(マーケティングトレンドとのシンクロ)</p> <p>市場調査 (校外を予定)</p> <p>リサーチレポートプレゼン</p> <p>プレゼンに向けたチームワークショップ</p> <p>期末テストとプレゼン</p>
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出席 10%</p> <p>残り 90%の内訳</p> <p>課題 30% 通期プロジェクト 50% 期末テスト 20%</p>

<p>主要教材図書</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>特徴</p> <p>国内外のアパレルにおいて、デザイン、MD、経営と携わってきた経験と、現在もコンサルタントとしてルミネブランドや上場アパレルと仕事をしているその生の声を届け、現在のアパレルビジネスにおいて必要とされる人材をMDという職種から学べます。</p> <p>紹介</p> <p>米国 NY のパーソンズ・スクール・オブ・デザイン卒業後、株式会社ファイブフォックスにてデザイナーとしてキャリアをスタート。</p> <p>その後、株式会社メルローズ、株式会社バロックジャパンリミテッド、合同会社西友 (ウォルマート) でブランド運営、商品開発・デザイン、MD 数値設計及び分析、マーケティング業務を歴任。</p> <p>2013 年より米国トミーバハマの日本進出を手掛け、コーポレート機能の設立に携わる。</p> <p>日本オリジナルの商品開発を軸としてローカライズを行い、外資アパレルにとって激動であった当時のビジネスを牽引した。</p> <p>2017 年より同社日本支社長歴任。</p> <p>2021 年より、THERIST 株式会社設立、同社 CEO・代表取締役就任。</p>

<p>記載者書名欄 佐々木貞夫</p>

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12423	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単 位	2単位
科目コード 606500	科目名 ビジュアルマーチャンダイジング	授業期間	半年

担当教員(代表)：浦川 仁	共同担当者：福持正義(ワールド社員)
---------------	--------------------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業概要：VMD基礎（VMD基礎知識/座学、VMD基礎知識に基づく演習・実習・プラン及び実践・応用） ・ 到達目標：VMDの基礎知識（プラン～実践）の習得を目指す ・ レベル設定：Lv1.VMD基礎知識を習得 Lv2.基本的な実践（陳列・演出）が出来るレベル Lv3.VMD基礎知識に基づきプラン～実践（陳列・演出）の応用が出来るレベル

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>
--

コマ	内 容
1	VMD基礎1 VMDとは？(情報編)
2	VMD基礎2 VMDとは？(戦略編)
3	VMD基礎3 VMDとは？(表現編)
4	VMD基礎4 ボディーディの基礎実践
5	VMD基礎5 雑貨、レイアウトの基礎実践
6	VMD基礎6 ディスプレイプラン
7	VMD基礎7 ディスプレイ実施
8	VMD基礎8 ディスプレイ実践のまとめ及びプレゼン

<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への出席日数・座学/演習/実習の態度及び実施内容・制作物提出の有無及び制作内容

<p>主要教材図書</p> <p>参考図書</p> <p>その他資料 「VMD TRAINING Manual BOOK」(ワールドオリジナルVMD教育資料)</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>アパレル記号のVMDとしての経験をもとに、VMDの基本を講義と演習により習得し、ブランディング、店舗設計を実習し実践的な授業を実施</p>
--

<p>記載者氏名 浦川 仁</p>

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード KG	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科	2年	単位	2
科目コード 501610	科目名 色彩計画 I		授業期間	通年

担当教員(代表) : 天野豊久

共同担当者 :

教育目標・レベル設定など

1年次『服飾デザイン論』で習得した色彩の基礎を発展的に学習する。

配色やイメージ表現などの基本的な色彩スキルをトレーニングしたのち、コンセプト策定からプレゼンテーションまでの色彩計画の考え方を演習を通して学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | |
|-----------------|---|---------------|
| 1. 概論 | 産業における色彩の役割
流行色の仕組み | (講義 2コマ) |
| 2. カラーコーディネーション | 色相・トーンによる配色
ファッションカラーコーディネーション
フォ・カマイユ／トーン・オン・トーン／トーン・イントーン／トータル
ナチュラル・ハーモニー／コンプレックス・ハーモニー
色彩調和論
配色ファイルの作成 | (講義および演習 9コマ) |
| 3. 色彩心理 | 色彩の心理的効果／色の連想・象徴
イメージと配色／色彩によるイメージ表現 | (講義および演習 3コマ) |
| 4. 色彩とコミュニケーション | 慣用色名と系統色名／カラーシステムとカラーコード
色名ファイルの作成 | (講義および演習 3コマ) |
| 5. トレンドカラーの分析 | 情報収集と整理・分析／製品色の提案 | (講義および演習 4コマ) |
| 6. トレンドカラーの提案 | 社会、ファッション環境の現状調査
コンセプトの策定／次シーズンへの提案
プレゼンテーション資料の作成 | (講義および演習 9コマ) |

評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書

文化ファッション体系服飾関連専門講座9『服飾デザイン』(文化服装学院編/文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介

演習を中心とする。

天野豊久 東京造形大学造形学部美術学科卒 日本色彩学会会員

記載者書名欄 天野豊久

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KG2	科名	インダストリア・マーチャング・デザイン科 2年	単 位	1単位
科目コード	500820	科目名	ファッションデザイン画 II	授業期間	半期

担当教員(代表) : 橋本 定俊	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

衣服のデザイン、構造を的確に描くことができるようになることを第一の目標に、学生個々の表現力を伸ばしていく。材質表現を中心としたベーシックなドローイング、彩色テクニックの習得及び明瞭なアイテム図の描き方を習得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- I・ベーシックデザイン/人体プロポーションのバランス確認と応用ポーズの作成
柄、透ける素材の描き方を練習 <2コマ>
- II・ディテールからの造形練習/ギャザー、フレアー、プリーツ、ドレープなどのディテールを応用しデザイン展開
グレースケールによる陰影とホワイト彩色によるハイライト効果 <2コマ>
- III・各種素材表現/皮革のデザイン・・・・・・マーカーの彩色技法、補助画材としての色鉛筆の使い方
デニムデザイン・・・・・・パステルの彩色技法 <2コマ>
- V・アイテム図/衣服を明確な線図として描く。
各種アイテムのバランスの取り方とペン(太、中、細)の扱い方 <2コマ>
- IV・絵画からの発想/画材の混色とマチエールの研究
筆のタッチによる材質感(織柄、編み地など)の描き方 <2コマ>
- VI・アイテム研究/アイテムの歴史とディテールの研究。
基本的な構造や機能を理解した上でのデザイン展開。 <2コマ>
- VII・創作デザインと画面構成 タブローとしてのデザイン画の表現を学ぶ <2コマ>

【評価方法】

課題作品による評価 評価基準:学業評価75%、授業姿勢25%

授業の特徴と担当教員紹介

担当教員 橋本定俊

ファッションデザイン画のテクニック向上に加え、担当教員のアパレル業界でのデザイナーとしてのキャリアと知識に基づく、学生の未来に視点を置いた学習内容と指導になっている。

担当教員は、大学卒業後、文化服装学院アパレルデザイン科を卒業。(株)BIGI、(株)ワールド、タケオ・キクチのアシスタントデザイナーを経て、(株)イトキンでオリジナルブランドを設立、その後 文化服装学院、文化学園大学で、ファッションデザイン画、ファッションイラストレーションの講師を務めている。(株)STHM 代表。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 橋本定俊

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG2	科名 インダストリアルマーチャンダイジング2年	単 位	1単位
科目コード 200320	科目名 アパレル素材論Ⅱ	授業期間	前期(13コマ)

担当教員(代表)：菅野めぐみ	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル素材論Ⅰで学んだ基礎知識をもとに講義・演習を通し、素材特性を最大限に引き出したより完成度の高いアパレル制作が出来る力や、取扱いを含めた素材を見る目・知識を身につける事を目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 布地の構成(講義、演習)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5コマ
 1年次で学んだ基礎知識の復習(各繊維性能、糸、組織等について)
 織編組織について、布地の構成や特徴、布地の規格、染色整理仕上げについて
 織物模型制作、その他織組織スワッチ分類、布地調べ
2. 風合い(講義、演習)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2コマ
 各種風合い表現、風合いをつくるためのテクニック(繊維、糸、布地、仕上げ加工の観点から探る)
 風合い別分類マップ制作
3. 布地の物性実験(講義、実験)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3コマ
 サンプル、各機器を使用した物性実験、考察
4. プリーツ(熱セット)実験(講義、実験)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1コマ
 熱可塑性をいかしたプリーツ・保持性実験含
5. テキスタイル産地(講義、演習)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1コマ
 日本のテキスタイル産地(織物・ニット産地)各産地の特色とマップ制作
6. 総論(講義)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1コマ
 アパレル素材論Ⅱ総論

【評価方法】

S～C・F評価(学業評価80% 授業姿勢20%)

主要教材図書 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局／「ワークブッカーアパレル素材論」文化服装学院教科書出版部／「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

講義、実験実習を行いながら素材知識を深める授業です。 文化服装学院専任講師/菅野めぐみ

記載者氏名 菅野めぐみ

2022年 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG2	科名 インダストリアルマーチャライジング科 2年	単 位	1
科目コード	科目名 アパレル品質論	授業期間	後期

担当教員(代表) : 吉村 とも子	共同担当者 :
-------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>テキスタイルやアパレルの企画、製造、販売における品質管理に関する知識を習得し、「関連する法律を理解し遵守する」「お客様の要求品質を満たす」ための活動ができることを目標とする。</p> <p>講義と演習により理解を深める。</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p>	
<p>1. アパレルと品質管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アパレルに求められる品質 ・ アパレルの製造工程別管理 	講義 2 コマ
<p>2. 品質評価試験(実用性試験)と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 品質評価試験の種類および品質基準 ・ 染色堅牢度試験 ・ 寸法変化試験 	講義 3 コマ
<p>3. アパレルの品質表示と法規制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 義務表示 家庭用品品質表示法 繊維製品表示規程 雑貨工業品表示規程 ・ 関連する法規制 不当景品類及び不当表示防止法 安全性に関わる法規制 製造物責任法 等 	講義 3 コマ
<p>4. アパレル製品の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐洗濯性：家庭洗濯 商業洗濯 ウェットクリーニングとドライクリーニング ・ 特殊クリーニングについて ・ 保管、廃棄と環境問題 ・ 耐薬品性(しみ抜き実験) 	講義及び実習 4 コマ
<p>5. アパレル製品の保証と製品事故</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商品の保障 ・ 製品事故の種類と原因・対策 	講義 1 コマ
計： 13 コマ	

評価方法・対象・比重	<p>学業評価＝各期末試験の得点、平常成績(授業内での応答、課題の評価) 80%</p> <p>授業姿勢＝出欠状況、授業課題提出状況など 20%とし、総合評価する</p>
------------	---

主要教材図書	ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座①「アパレル品質論」文化出版局発行
--------	---------------------------------------

参考図書	
------	--

その他資料	
-------	--

授業の特徴と担当教員紹介	吉村とも子 文化女子大学(現文化学園大学)卒業。文化服装学院勤務、現在講師。
--------------	--

記載者書名欄	吉村とも子
--------	-------

科コード	科名 インダストリアルマーチャライジング科	単 位	1単位
科目コード	科目名 コーディネート論	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 野口 恭子	共同担当者 :
------------------	---------

<p>概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)</p> <p>ファッションコーディネートに必要な基本知識と技術を習得することを目標とする。 アクセサリーに視点を置いたコーディネート、素材柄に視点を置いたコーディネート、体型をカバーするためのコーディネートそれぞれの講義・MAP制作実習・スタイリング実習を行う。 10コマ講義 3コマ実習 合計13コマ</p>
--

コマ	内 容	コマ	内 容
1	アクセサリーに視点を置いたコーディネート(眼鏡、ネックレス)	16	
2	体型カバーに視点を置いたコーディネート 体型観察・下着、ガードルについて	17	
3	素材・柄に視点を置いたコーディネート	18	
4	素材・柄に視点を置いたコーディネート スタイリング実習	19	
5	素材・柄に視点を置いたコーディネート スタイリング実習	20	
6	体型カバーに視点を置いたコーディネート講義・MAP制作 (背が高い・背が低い)	21	
7	体型カバーに視点を置いたコーディネート講義・MAP制作 (ふくよか・やせがた)	22	
8	部分カバーに視点を置いたコーディネート講義・MAP制作(首・胸)	23	
9	部分カバーに視点を置いたコーディネート講義・MAP制作(首・胸)	24	
10	部分カバーに視点を置いたコーディネート講義・MAP制作 (肩幅・腕・ウエスト)	25	
11	部分カバーに視点を置いたコーディネート講義・MAP制作 (肩幅・腕・ウエスト)	26	
12	部分カバーに視点を置いたコーディネート講義・MAP制作 (脚・下半身)	27	
13	自分の体型を客観的に分析(before&after 撮影実習・MAP制作)	28	
14		29	
15		30	

S～C・F評価

評価基準：学業評価 90% 授業態度10%

主要教材図書 文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニック 演出編
参考図書
その他資料

記載者氏名 野口 恭子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KG2	科名	IMD科2年	単位	単位
科目コード		科目名	デザイン文化	授業期間	通期

担当教員(代表)：布施伊織

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

複雑な成立過程を孕むようになった近代の西洋美術から現代のアート動向までを解説。単純に美術作品を紹介するのではなく、なぜそれらの傑作が生まれたのか、どういう意図で作品制作を行い成功したのか、芸術家を「企画者」という視点から分析することで企画発想力の方法論につなげる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
美術史的アプローチ方法の解説	座学	1	最終課題説明	座学	1
新古典主義、風景画、ロマン主義	座学	2	芸術家達の企画力、企画書の書き方	座学	2
芸術のメッセージ性。クールベ、マネなど	座学	2	ディレクターの役割	座学	1
芸術の純粋性とは。印象派、ポスト印象派	座学	1	実習	座学	1
変容した絵画概念。セザンヌを通じて	座学	1			
装飾概念の解説、マティスによる地と図の反転	座学	2			
表現主義。ムンク、ドイツ表現主義など。	座学	2			
レディメイド、パピエ・コレ、シュルレアリスム	座学	2			
映画史解説	座学	3			
建築史概観	座学	1			
20世紀までの文化おさらい	座学	1			
バウハウス概説	座学	1			
ポスト芸術。ポロックとウォーホル	座学	1			
現代アート概説	座学	2			

【評価方法】

出席率、授業内レポート、最終回のデザイン発想実習

授業の特徴と担当教員紹介

慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻卒。文化服装学院アパレルデザイン科卒。アパレル企業勤務を経て、アスリートマネジメントを行う会社に勤務。教養だけで終わりがちな西洋美術史の知識を、発想にいかせるように伝えることを目指す。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 布施伊織

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KG2	科名	インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単位	1単位
科目コード		科目名	英会話 I	授業期間	前期

担当教員(代表) : 三村 典召	共同担当者 : 増田 和香子
------------------	----------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】英語の基礎文法の復習に加え、グループ、ペア・ワークを通し英語運用能力を高める。自分の考えをシンプルに伝えることができるようになることを目標に据える。加えて適宜ファッション関連のトピックなども導入する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
Course description/Self-introduction	演習	1
Activity with Alphabet Cards	演習	1
Countries and Fashion Brands	演習	1
Dates and Months	演習	1
Time and Frequency	演習	1
Interrogatives and Questions	演習	1
Giving Directions	演習	1
Adjectives	演習	1
Adjectives(2)	演習	1
Sewing Tools and Clothes-Making Process	演習	1
Number	演習	1
Fashion show	演習	1
Oral Presentation	演習	1

【評価方法】
学業評価 (50%)、 授業姿勢 (50%)

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 コミュニケーション力を養うため可能な限りペアワーク・グループワークの機会を設ける。

記載者氏名 三村 典召

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 インダストリアルマーチャライジング科2年	単位	2
科目コード	科目名 グラフィックワーク I	授業期間	通年

担当教員(代表): 高崎 利々子	授業補佐: 林田 春佳
------------------	-------------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

グラフィック系ソフトの基本操作を、課題制作等での繰り返しの使用によって、確実に身につけさせる。初心者を対象とした内容。3年次への継続科目。全 28 回。

授業概要

- ◎オリエンテーションとログイン、MacOS基本操作 1回
 - ・出席確認及び実習室利用の注意事項
 - ・ログイン操作、OS基本操作、ファイル関連の基本操作など
- ◎Illustrator 7回
 - ・導入 ソフトの起動と初期操作 インターフェイスの把握と理解 各種メニュー(ツール)
 - ・基本図形の描画と着色、テキストの利用と編集
 - ・変形やパスファインダー等の機能を併用した具象描画
 - ・国旗デザインの描画…正確な縦横比、指定色での着色など
- ◎Photoshop 5回
 - ・導入 ソフトの起動と初期操作 インターフェイスの把握と理解 各種メニュー(ツール)
 - ・画像編集:非破壊編集の理解 レイヤーの理解 調整レイヤー
 - ・選択範囲 マスク(レイヤーマスク)による切抜き マスク編集専用モード
 - ・作業ウィンドウのアレンジ ウィンドウ間のデータ移動(合成)
 - ・時間内プチテスト
- ◎Photoshopでのデジタル着色とテキストチャーター合成 7回
 - ・線画の入力と下準備。解像度と色調補正
 - ・別レイヤーでの着色。非破壊編集の理解 合成モードの選択。
 - ・塗りつぶしレイヤーを使った着色(グラデーション、パターン)
 - ・Photoshopのクリッピングマスク
 - ・パリエーションの作成 データ管理の方法・考え方
 - ・Illustratorを使ってマップに仕上げる
- ◎写真と文字をレイアウトした書類作成 8回
 - ・Illustrator / Photoshopを双方を使ったマップ作成
 - ・画像のカラーモードと保存フォーマット
 - ・Illustratorのクリッピングマスクの使い方
 - ・アピアランスパネルの使い方(塗り色の追加など)
 - ・アートボードへの画像配置の注意点(埋め込みとリンク、及びデータ保存に関する注意点)
 - ・パッケージ保存と別フォーマットへの書き出し

評価方法・対象・比重 S~C・F評価 評価基準:学業評価70%、授業姿勢10%、出席率20%

主要教材図書 なし
参考図書など

授業の特徴 パソコン初心者であることを前提に、ソフトの基礎を課題制作を通して習得することができる。

担当教員紹介 高崎利々子 文化服装学院卒。各種アプリケーションソフトの基本操作をしっかりと教える。

記載者書名欄 高崎利々子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG2	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単 位	1 単位
科目コード 904520	科目名 キャリア開発Ⅱ	授業期間	後期 ()

担当教員(代表) : 森 薫子	共同担当者 :
-----------------	---------

<p>概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●志望する就職先に内定するために必要な「総合的就職力」を養う <ul style="list-style-type: none"> ・企業職種研究を通して、仕事の面白さを考え、希望する企業や職種がイメージできるようになる ・面接練習などを通してプレゼンテーション能力が高まる ・筆記試験 ●育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>1年後期、2年前期に学んだキャリア開発の総仕上げとして、就職活動に必要な力と能力「総合的就職力」を育成。 具体的には、①基本マナーと好感を与えるコミュニケーションスキル、②PDCA サイクル、③企業・職種研究 などの2年前期に学んだ就職活動の基本を踏まえつつブラッシュアップさせ、更に以下2点を強化。</p> <p>② プレゼンテーション能力 ②筆記試験対策</p> <p>あわせて、企業研究・職種研究を通して「仕事の面白さ」を発見し、志望する就職先や職種を見つけ、内定するために必要な力は何かを考え学び実践。 これらの「総合的就職力」を、講義+ワーク+実習+SPI 対策を通して身につけさせる。 全13回、すべての回を通してSPI 対策を実施し、後半では、履歴書やエントリーシートを書き、模擬面接(集団・個人・グループディスカッション)も行う。</p>
--

<p>評価方法・対象・比重 受講態度(個人ワーク及びグループワーク・プレゼンテーション実習) 70%+レポート20%+課題10%</p>

<p>主要教材図書 ・キャリア開発 就職対策(第6版) ・レジュメ</p> <p>参考図書 SPI 対策本</p> <p>その他資料</p>
--

<p>授業の特徴と担当教員紹介 志望する就職先に内定するために必要な「総合的就職力」を養う。 育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う。</p>
--

<p>記載者氏名 森 薫子</p>

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 1242	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科 2年	単位	2 単位
科目コード 805	科目名 特別講義Ⅱa/Ⅱb	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 花田 浩朝

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル産業の現状を主に卒業生から企業目線や実体験のアドバイス、さらに科の特色に沿った知識として講義、実習をうける

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

トレンドの変遷	2コマ	澤住 倫子先生
トレンド解説	2コマ	WWDに依頼
ブランド運営	1コマ	森 崇氏
カットソーの知識と縫製	3コマ	西川 真令先生
ファッション情報とテキスタイル	1コマ	金子 博也氏
キャリア開発	7コマ	森 薫子先生
販売促進について	1コマ	酒井 英典氏
リサーチと新企画提案	2コマ	三浦 健氏
染色について	2コマ	伊藤 望先生
アパレルの企画から生産	1コマ	深澤 良宏氏
ポップアップショップ企画	1コマ	鈴木 絢也氏
アパレル企業の仕事体験	2コマ	(株) エフリード
バイヤーの業務	1コマ	未定

【評価方法】

履修認定 (P)
学業姿勢、出席状況により

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 講師準備プリントなど

授業の特徴と担当教員紹介

科の特色にあわせ講師を依頼し、日々の授業では得られない知識を習得する

記載者氏名 西平 孝子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 1242	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科 2年	単 位	2 単位
科目コード 807	科目名 校外研修Ⅱ	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 花田 浩朝	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

日本の伝統文化に触れる機会を持ち、感性を高める。
また、アパレル企業や工場を見学し、新しい技術や長年培われた地場産業の技術を学ぶ

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

※2020年度は中止とし、3年次に進級後実施する

【評価方法】

履修認定 (P)
出席状況により

主要教材図書

参考図書

その他資料 現地ガイドによる解説

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 西平 孝子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 1242	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科 2年	単位	1~2 単位
科目コード 808~809	科目名 企業・学内研修 a/b	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 花田 浩朝	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル業界の現場・現状を把握させるためにアパレル企業で実際に研修を受けることで学校教育では体験出来ない実学を学ぶ。

また、企業研修に参加しない学生は学内研修を受講し、日常で学べない知識を得る。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

企業研修

企業の業務概要と研修部門での業務について指導を受け、補助的な業務に従事する。

終了後、研修報告会をプレゼンテーションにて発表する

学内研修

オリジナルブランドにおけるシーズン企画立案 20コマ

グラフィックワーク 4コマ

ポートフォリオ作成 2コマ

OEM業界について 2コマ

リクルートカラー 2コマ

コミュニケーションと文化 2コマ

ピンワーク実習 2コマ

新ブランドの立ち上げ 2コマ

合計 36コマ

※企業研修・学内研修のどちらかを選択する

【評価方法】

履修認定 (P)

学業姿勢、出席状況により

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 講師作成資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 西平 孝子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 1242	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科 2年	単位	1 単位
科目コード 810	科目名 コラボレーション a/b	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 花田 浩朝	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

科の特色の科目や特別講義で習得した知識を活用し、外部講師、企業とのコラボレーション活動をグループで参加する

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

外部講師・企業とのコラボレーションが実現した年度のみ行う

【評価方法】

履修認定 (P)
学業姿勢、出席状況により

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 西平 孝子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12423	科名 インダストリアルマーチャンドライジング3年	単 位	2単位
科目コード 102020	科目名 マーチャンドライジング論Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：佐藤正臣	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
★時代の変化に柔軟に対応できるMDの育成

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・企業の目的とは
- ・MDの目的（5滴など）
- ・目標の立て方
- ・売上の公式
- ・自分の目標発表
- ・ソフト/ハードMDについて
- ・ソフト/ハードMDが持つべき思考・資質について
- ・売価/原価について
- ・OTBを理解する。
- ・各種予算の考え方
- ・各種予算の考え方2
- ・数値基礎テスト
- ・仕入業態を知る
- ・MDプランニングの基礎を知る。
- ・ある店舗をモデルにMD設計を学ぶ
- ・MD設計1
- ・MD設計2
- ・MD設計3
- ・MD設計4
- ・MD設計5
- ・MD設計6
- ・MD設計7

評価方法・対象・比重
 出席：理解（6：4）

主要教材図書 弊社作成 PPT・Excel
 参考図書
 その他資料

【授業の特徴と担当教員紹介】
 アパレル企業でのマーチャンドライザーとしての経験をもとに、時代の変化に柔軟に対応できるマーチャンドライザーを育成することを目標に指導する。

記載者氏名 佐藤正臣

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12423	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科 3年	単 位	3単位
科目コード 102100	科目名 マーチャンダイジング演習・企画	授業期間	通年

担当教員(代表) : 佐藤正臣	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 ○卒業制作・発表へ向けてのサポートと具体的なビジネスプランの制作。
 →就職してからも役立つMD知識を身に着ける

<p>【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 (復) 売価・原価・粗利益・値入の基礎 <ul style="list-style-type: none"> ・復習を簡単に ・粗利益の説明(小売り・製造業の違い) 2 (復) OTBのロジック 3 OTB表は何故必要なのか? <ul style="list-style-type: none"> ・2つの基礎をくっつけたもの ・MDの目的「売上」「粗利」の向上 ・在庫回転率とは? ・リテール数値マネジメントのロジック 4 仕入設計の考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・P/L C/F交えながら ・必要粗利益高と粗利益率の設定 ・数量を作ると何故原価率は下がるのか? ・仕入形態別の原価考察 ・仕入設計の考え方 ・余った在庫をどう考えるか? 5 売上の公式と販売戦略 6 MDスケジュール 7 MD予算設計～自分が実行したいディレクションを数値で表現する～ <ul style="list-style-type: none"> ・月別売上分解 ・カテゴリー別売上分解 ・仕入業態別売上構成(仮) 8 アイテム・SKU数設定 <ul style="list-style-type: none"> ・標準店舗の考え方 ・販売期間の考え方 ・アイテム・SKU数の算出・分解 9 OTB計画策定(カテゴリー別)→本格的なMD設計 <ul style="list-style-type: none"> ・粗利率の月別設計 ・仕入の月別設計
--

- ・在庫の月別設計
- 10 卒業制作へ向けて個別サポート（ゼミ方式）
- ・損益計算書からのビジネス設計
 - ・標準店舗からのアイテム・SKU設計
 - ・MDMAP+MD予算設計
 - ・その他ビジネスプランにおいて必要な事項を個々にサポート

評価方法・対象・比重

出席：理解（5：5）

主要教材図書 弊社作成 PPT・Excel

参考図書

その他資料

【授業の特徴と担当教員紹介】

アパレル企業でのマーチャンダイザーとしての経験をもとに、時代の変化に柔軟に対応できるマーチャンダイザーを育成することを目標に指導する。

記載者氏名 佐藤 正臣

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG	科名 インダストリアルマチャングデザイン科3年	単 位	12 単位
科目コード 001020	科目名 アパレル造形論Ⅱ	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：徳岡 慧	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
各自コンセプトに基づいたクリエイション性の高いデザインの表現力と企画力を向上させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

アパレル造形論	前期 1 単位	後期 1 単位
アパレル造形演習 デザイン	前期 2 単位	後期 2 単位
アパレル造形演習 製作	前期 3 単位	後期 3 単位

1、プライベートブランドⅠ（春夏アイテム 一重ジャケットとボトム）77コマ 前期
カジレーネ株式会社とのコラボレーション
デザイン・パターン・実物1st サンプル製作・プレゼンテーション

2、プライベートブランドⅡ（秋冬アイテム）89コマ 後期
デザイン・パターン・実物製作・プレゼンテーション

3、立体裁断 8コマ 前期・後期
3面構成のジャケット
※文化ヌードボディ使用

評価方法・対象・比重
制作物・実技試験・出席状況

主要教材図書	ファッション大系・・・スーツ・ベスト コート・ケープ 服飾造形応用編（特殊素材 高級素材） 立体裁断（基礎編 応用編）
参考図書	各種コレクション情報
その他資料	実物参考標本 プリント

記載者氏名 徳岡 慧

2022年度 カリキュラム科目概要

科コード	KG3	科名	インダストリアルマーチャング・デザイン科 3年	単位	1
科目コード	401100	科目名	生産企画	授業期間	前期

担当教員(代表)： 加藤 紀人	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル製品を生産する上で必要となる業務について、メーカーにおける生産関連担当者の職域を中心に学ぶ。商品企画段階で設定される、品質(Q)・原価(C)・納期(D)を高水準で成立させることを目標に、生産実務に至る準備段階から事後処理までを体系的に理解する。グローバル化に伴う海外生産の拡大も視野に入れ、今後のアパレル生産の行方を考慮の上、各自でアパレル製品の生産企画を立案する。

応用レベル

【授業計画】

- I. ガイダンス (1)
 - ① 生産に関する基礎知識
- II. 生産担当者の位置づけ (1)
 - ① アパレルメーカーにおける業務の全体像
 - ② 生産担当者の業務領域
- III. 生産実務の概要 (1)
 - ① 管理業務の概要
 - ② 生産実務の作業手順
- IV. 生産前準備 (3)
 - ① 生産計画
 - ② 材料調達
- V. 生産実行 (3)
 - ① 工場の手配
 - ② 工賃設定
 - ③ 納期管理
- VI. 生産の後処理 (1)
 - ① 増・減産処理
- VII. 入荷検査 (1)
- VIII. 海外生産の基礎知識 (1)
 - ① アパレル貿易とは
 - ② 世界のアパレル生産拠点 日本の輸出入の現状
- IX. 今後の生産管理 (1)

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 筆記試験(60%) + 提出物(20%) + 出席率(20%)

主要教材図書

参考図書

その他資料 適宜プリント配布

授業の特徴と担当教員紹介

アパレルメーカー生産担当者の職域について学ぶ。文化服装学院 専任講師が担当。

記載者書名欄 加藤 紀人

科コード	科 名	インダストリアル MD 3年	単 位		
科目コード	KG31001400	科目名	アパレル造形演習 (カット&ソー)	授業期間	2021, 4, 15~2022, 1, 27

担当教員(代表) : マレイ(有)取締役 西川 真令	共同担当者 : マレイ(有) 中川絵里奈
----------------------------	----------------------

教育目標・レベル設定など

丸編みカットソーの縫製的知識とミシン縫製取得
美しいシルエットの立体裁断基礎知識とパターンと縫製の商品仕上げ指導。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、
講義とパターン作図と縫製実習内容

丸編みのニットジャージ素材の基礎知識と各種カットソーミシン縫製技術習得
美しいシルエットの基礎知識を立体裁断で取得

パターン作図技術、縫製、プレス、袋縫い納品までの実践指導。

カットソー丸編み概論・丸編みを中心にしたニット素材のパターン製作と縫製の基本的知識
の習得。パリコレや東京コレクションでの豊富な経験と知識の情報を伝える。



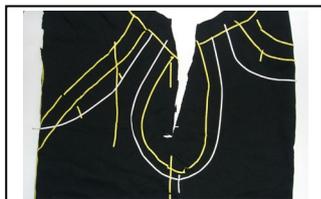
裏毛パーカー作図指導 各自実寸の製作

講義 4/14, #1,2

パーカー作図 縫い代付きの

講義 4/28 #3,4

立体裁断の作図



ダーツ無し的美丽シルエットパターンの立体裁断の実習指導
工業パターンの習得と高級感のある縫い方技術指導を教える。

コラボデザイン企画の デザインから作図の指導

講義実習 5/12,#5,6

コラボデザインと作図

縫製実習 5/26 6/9 7/7,,,,,#7,8,9,10,11,12

マチ針を使わないで縫い上げる現代縫製工場の指導、

生地を理解させた商品としての縫製仕上げを原則として指導。

カットソーにおける W 付け衿とバインダー衿の基本的縫い方の習得、衿
ネーム付け、選択絵表示、プレス、ビニール袋詰め、検品検針の商品とし
ての実践的商品作りの縫製指導をする。

常にハイレベルな商品即ち製品作りを教える。

各自パーカーの平面作図の製作と、裁断。 講義指導 7/14, 9/15,10/6
#11,12,13,14,15,16

服の常識・重ね合わせのフードの考え方指導
空グレー裏毛 30/10 の生地解説、多種フードのデザイン解説、
カンガルーポケットの縫製、テレコリブの縫製考察、
価値観を上げる縫い方衿折伏せテープの仕上げ縫製、

製品染めポロ衿シャツ



アパレル企業では一度は企画するであろう製品染めの経験を指導する
精練綿糸の縫製指導、綿鹿の子解説、
ポロ衿あき 男明き、女明き前立て作図 講義指導 10/20 #17,18

編立てリブ、袖リブ、衿織り伏せテープの編みたて発注。
リブの耳を使う高級仕上げ縫製指導 一枚のパターンで作る前立て
縫製、一枚のパターンで作る片玉縁ポケット、袖口リブの高級仕上げ、
クラシック・スリット縫製指導

縫製実習 11/10,11/24,12/8 #19,20,21,22,23,24,25,26

提出が遅れている生徒は1月調整、縫製仕上げを見る。

1/11、、、 #27,28



製品染めポロシャツ染色

服を形成する 染めはTOPS 染め、先染め、反染め、製品染めの総て
を1年間で実践的に学ぶカリキュラムです

製品染めを企画する会社は多くよい経験となることでしょう。

縫製実習 202231 /27 #29.30

評価方法・対象・比重

実技評価 S A B C

主要教材図書 「カットソー・立体裁断・縫製」の本

参考図書 洋書

その他資料 パリコレや東京コレクションで製品縫製した素材 やサンプルを参考見本とする

授業の特徴と担当者員紹介

特徴：

現在の日本人デザイナーの問題点を越えた、ノーダーツで美しいバストシルエットと美しい衿のデザイン指導。

縫製はイージーな開発国的縫製ではなく クラシックは基本縫製を含めての現代縫製のマチ針を使わない高度な縫製を簡単に教えること、一枚のパターンで作られる創造的な既製服パターンを指導すること。実践教育としての考え、社会に出て即 就職した企業で活用できるパターン・縫製・デザインの指導教育。

担当者員紹介：

大学卒業後文化服装学院服飾産業科編入学 デザイン科在学中に川上三郎繁三郎や山本寛斎のコンサルティングの仕事をする、(株)寛斎 入社後国内チーフデザイナーでパリコレを手伝う、帰国後は(株)アルファキュービック、(株)菊池武夫でデザイナー後、1985年マレイ(有)設立 (株)イッセイミヤケ、(株)ヨウジヤマモト、ナカノヒロミツ等のサンプルと量産を手がける、現在もトーガ、アンダーカバー、ヨウヘイオウノ、ピアンカ、コズミックワンダー等デザイナーブランドを手がけ、幾多の特許取得とTVショッピング等に企業活動をしている。

記載者書名欄 マレイ(有)取締役西川真令

科コード	科 名	インダストリアルMD 3年	単 位		
科目コード	KG31001400	科目名	アパレル造形演習 (カット&ソー)	授業期間	2021, 4, 15~2022, 1, 27

担当教員(代表) : マレイ(有)取締役 西川 真令	共同担当者 : マレイ(有) 中川絵里奈
----------------------------	----------------------

教育目標・レベル設定など

丸編みカットソーの縫製的知識とミシン縫製取得
美しいシルエットの立体裁断基礎知識とパターンと縫製の商品仕上げ指導。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、
講義とパターン作図と縫製実習内容

丸編みのニットジャージ素材の基礎知識と各種カットソーミシン縫製技術習得
美しいシルエットの基礎知識を立体裁断で取得

パターン作図技術、縫製、プレス、袋縫い納品までの実践指導。

カットソー丸編み概論・丸編みを中心にしたニット素材のパターン製作と縫製の基本的知識
の習得。パリコレや東京コレクションでの豊富な経験と知識の情報を伝える。



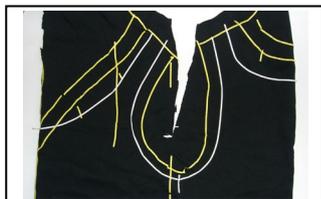
裏毛パーカー作図指導 各自実寸の製作

講義 4/14, #1,2

パーカー作図 縫い代付きの

講義 4/28 #3,4

立体裁断の作図



ダーツ無し的美丽シルエットパターンの立体裁断の実習指導
工業パターンの習得と高級感のある縫い方技術指導を教える。

コラボデザイン企画の デザインから作図の指導

講義実習 5/12,#5,6

コラボデザインと作図

縫製実習 5/26 6/9 7/7,,,,,#7,8,9,10,11,12

マチ針を使わないで縫い上げる現代縫製工場の指導、

生地を理解させた商品としての縫製仕上げを原則として指導。

カットソーにおける W 付け衿とバインダー衿の基本的縫い方の習得、衿
ネーム付け、選択絵表示、プレス、ビニール袋詰め、検品検針の商品とし
ての実践的商品作りの縫製指導をする。

常にハイレベルな商品即ち製品作りを教える。

各自パーカーの平面作図の製作と、裁断。 講義指導 7/14, 9/15,10/6
#11,12,13,14,15,16

服の常識・重ね合わせのフードの考え方指導
空グレー裏毛 30/10 の生地解説、多種フードのデザイン解説、
カンガルーポケットの縫製、テレコリブの縫製考察、
価値観を上げる縫い方衿折伏せテープの仕上げ縫製、

製品染めポロ衿シャツ



アパレル企業では一度は企画するであろう製品染めの経験を指導する
精練綿糸の縫製指導、綿鹿の子解説、
ポロ衿あき 男明き、女明き前立て作図 講義指導 10/20 #17,18

編立てリブ、袖リブ、衿織り伏せテープの編みたて発注。
リブの耳を使う高級仕上げ縫製指導 一枚のパターンで作る前立て
縫製、一枚のパターンで作る片玉縁ポケット、袖口リブの高級仕上げ、
クラシック・スリット縫製指導

縫製実習 11/10,11/24,12/8 #19,20,21,22,23,24,25,26

提出が遅れている生徒は1月調整、縫製仕上げを見る。

1/11、、、 #27,28



製品染めポロシャツ染色

服を形成する 染めはTOPS 染め、先染め、反染め、製品染めの総て
を1年間で実践的に学ぶカリキュラムです

製品染めを企画する会社は多くよい経験となることでしょう。

縫製実習 202231 /27 #29.30

評価方法・対象・比重

実技評価 S A B C

主要教材図書 「カットソー・立体裁断・縫製」の本

参考図書 洋書

その他資料 パリコレや東京コレクションで製品縫製した素材 やサンプルを参考見本とする

授業の特徴と担当者員紹介

特徴：

現在の日本人デザイナーの問題点を越えた、ノーダーツで美しいバストシルエットと美しい衿のデザイン指導。

縫製はイージーな開発国的縫製ではなく クラシックは基本縫製を含めての現代縫製のマチ針を使わない高度な縫製を簡単に教えること、一枚のパターンで作られる創造的な既製服パターンを指導すること。実践教育としての考え、社会に出て即 就職した企業で活用できるパターン・縫製・デザインの指導教育。

担当者員紹介：

大学卒業後文化服装学院服飾産業科編入学 デザイン科在学中に川上三郎繁三郎や山本寛斎のコンサルティングの仕事をする、(株)寛斎 入社後国内チーフデザイナーでパリコレを手伝う、帰国後は(株)アルファキュービック、(株)菊池武夫でデザイナー後、1985年マレイ(有)設立 (株)イッセイミヤケ、(株)ヨウジヤマモト、ナカノヒロミツ等のサンプルと量産を手がける、現在もトーガ、アンダーカバー、ヨウヘイオウノ、ピアンカ、コズミックワンダー等デザイナーブランドを手がけ、幾多の特許取得とTVショッピング等に企業活動をしている。

記載者書名欄 マレイ(有)取締役西川真令

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG3	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科3年	単位	2
科目コード	科目名 テキスタイル造形演習	授業期間	通年

担当教員: 眞田玲子	
------------	--

教育目標・レベル設定など 前期: テキスタイルデザインにおける先染め、後染め、染色仕上げ加工の技法の理解と習得。 後期: 「手織り」を通じて、布帛の構造や特徴を理解することで、アパレルデザインにおけるテキスタイルの可能性を学ぶ。
--

【授業計画】 「染色加工」 1 布地の造形要素として背景、意義、目的の理解をする 先染め 直接酸性染料にて原料、繊維の染色方法を学ぶ 精練 漂白等工程の復習 2コマ 表面加工及び地風、地合いの表現を学ぶ テクスチュアと加工、後加工、固着 8コマ、 溶解 4コマ 抜染 2コマ 等 (計16コマ) 「織物実習」 基礎織り 織機の構造及び 紡毛 綿糸2種の糸を用いて制作を通して素材違いから織物風合い、特徴を理解する。1コマ ウールの原毛フェルトによる 立体小物制作(ドライフェルト ウェットフェルト制作) 2コマ プラプレートによる表面効果 アルミホイル スポンジなど 様々な資材で線から面を構成する。1コマ (計4コマ) 「オリジナルの布作り」 卒制や コンテスト出品をふまえ 各自の企画でオリジナルテキスタイル制作 また、アパレル素材 ファッショングッズ、小物の企画、制作 (10コマ)

評価方法・対象・比重 : ①試験0% ②課題提出 70%③授業姿勢 10%④出欠席 20%⑤その他0%による総合評価
--

主要教材 アパレル染色論(文化服装学院教科書)
参考図書 なし
その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

染色加工技法(浸染・捺染・溶解)や織物組織 素材の違いを実習を通して習得する。

眞田玲子 企業におけるテキスタイルデザイナーの経験をもとに繊維素材の実用性、アパレルデザインにおける必要な図案や素材との調和など染色加工の企画制作を指導。

記載者書名欄 眞田玲子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科名	インダストリアルマーチャンダイジング科3年	単位	2
科目コード	600920	科目名	ファッションマーケティングⅡ	授業期間	前期

担当教員(代表) : 深地雅也	共同担当者 :
-----------------	---------

<p>教育目標・</p> <p>アパレル業界におけるマーケティング業務の実務を講義と実習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる「実学」を目指す。</p>
--

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ 実践的なマーケティングの基礎知識を講義し、グループワークにて検証、発表を行う。 所要コマ数 14コマ (講義 50%、グループワーク 35%、発表 15%) 使用機材 : PC</p> <p>【講義内容】</p> <p>マーケティングとは マーケットトレンド ブランドビジネス 講義にて既存のブランド紹介を行い、グループ単位でブランド調査を行う。 結果をプレゼンテーションし、フィードバックを行う。</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこのブランドをテーマとするか →なぜ、今このブランドの調査を行うのか。時事、コレクション、トレンドとの関係性 ・ブランドのどこに焦点をあてるか →総合的に捉えることが必要だが、最初はデザイン、パターン、店舗、ECなどどこか1つテーマを決め、その部分を深掘りしていく。 次回は違う視点からブランドを捉え、多角的に分析する力を身に着ける
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出席 70% 授業内課題 30%</p>

<p>主要教材図書</p> <p>参考図書</p> <p>その他資料</p>
--

<p> </p>

<p>記載者書名欄</p>

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12423	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科3年	単 位	2単位
科目コード 606500	科目名 ビジュアルマーチャンダイジング	授業期間	通年

担当教員(代表)：浦川 仁	共同担当者：福持正義（ワールド社員）
---------------	--------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ 授業概要：VMD基礎（VMD基礎知識/座学、VMD基礎知識に基づく演習・実習・プラン及び実践・応用）
- ・ 到達目標：VMDの基礎知識（プラン～実践）の習得を目指す
- ・ レベル設定：Lv1.VMD基礎知識を習得 Lv2.基本的な実践（陳列・演出）が出来るレベル
Lv3.VMD基礎知識に基づきプラン～実践（陳列・演出）の応用が出来るレベル

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容
1	VMD基礎1 VMDとは？（情報編）
2	VMD基礎2 特別授業/百貨店のVMDを学ぶ（新宿伊勢丹VMD清水様登壇）
3	VMD基礎3 VMDとは？（戦略編）
4	VMD基礎4 VMDとは？（表現編）
5	VMD基礎5 ボディーディ、雑貨、レイアウトの基礎実践
6	VMD基礎6 ディスプレイプラン
7	VMD基礎7 ディスプレイ実施
8	VMD基礎8 ディスプレイ実践のまとめ及びプレゼン
9	VMD応用1 MDの授業と連動しVMDに基づきオリジナルの店舗プラン（店舗意図及び図面・模型）を制作（実習）
10	VMD応用2 MDの授業と連動しVMDに基づきオリジナルの店舗プラン（店舗意図及び図面・模型）を制作（実習）
11	VMD応用3 MDの授業と連動しVMDに基づきオリジナルの店舗プラン（店舗意図及び図面・模型）を制作（実習）
12	VMD応用4 MDの授業と連動しVMDに基づき卒業制作展示プラン（演出表現意図及び図面・模型）を制作（実習）
13	VMD応用5 MDの授業と連動しVMDに基づき卒業制作展示プラン（演出表現意図及び図面・模型）を制作（実習）
14	VMD応用6 MDの授業と連動しVMDに基づき卒業制作展示プラン（演出表現意図及び図面・模型）を制作（実習）
15	VMD応用7 卒業制作プレゼン

【評価方法】

- ・ 授業への出席日数・座学/演習/実習の態度及び実施内容・制作物提出の有無及び制作内容

主要教材図書

参考図書

その他資料 「VMD TRAINING Manual BOOK」（ワールドオリジナル VMD 教育資料）

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル記号のVMDとしての経験をもとに、VMDの基本を講義と演習により習得し、プランディング、店舗設計を実習し実践的な授業を実施

記載者氏名 浦川 仁

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科名	インダストリアルマーチャダイジング科3年	単位	2単位
科目コード	606500	科目名	セールスワーク	授業期間	通年

担当教員(代表) :	小林章子	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売員の重要性、必要性を理解する ・接客の楽しさ、難しさをロールプレイングを通して学ぶ ・接客販売の基本の流れと、販売員としての基本的な立ち居振る舞いを理解する ・販売員として活躍するための心構えを理解する
--

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
・オリエンテーション ・第一印象の重要性	講義・ディスカッション	1
・販売員の基本マナー	講義	1
・商品の取り扱いの基本	講義・ロールプレイング	1
・理想的な販売員とは	講義	1
・お客さまの購買心理とFAの対応	講義・ロールプレイング	1
・待機姿勢～迎え入れ	講義・ロールプレイング	1
・ファーストアプローチ	講義・ロールプレイング	1
・会話を弾ませながら情報収集	講義・ロールプレイング	2
・根拠ある商品提案	講義・ロールプレイング	3
・フィッティング対応	講義・ロールプレイング	1
・コーディネート提案	講義・ロールプレイング	2
・ネックポイントの解消	講義・ロールプレイング	1
・クロージング	講義・ロールプレイング	1
・レジ対応～お見送り	講義・ロールプレイング	2
・ロールプレイング	ロールプレイング	4
・ロールプレイングテスト	ロールプレイング	2
・知っておきたい店舗での対応 ・働く前に知っておきたいこと	講義・ディスカッション	2
・これからのファッション販売 ・ビジョン作成 ・まとめ	講義・ディスカッション	2

【評価方法】	S～C・F評価	評価基準	学業評価50%：ロールプレイング、レポート、ファイル管理 授業姿勢50%：出席状況、授業に対する参加度による総合評価
--------	---------	------	---

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>アパレル企業での接客販売、マネジメント、店舗運営、VMD、スタッフ研修等の業務経験をもとに、接客販売の重要性やファッション業界で必要とされるコミュニケーションスキル・マナー・テクニックをロールプレイング形式で学ぶ実践指導を実施。課題点を捉え、改善につなげるプロセスも身に付ける。</p>
--

記載者氏名	小林章子
-------	------

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科名	インダストリアルマーチャンダイジング科3年	単位	2
科目コード		科目	インターネットビジネスⅡ	授業期間	後期

担当教員(代表) : 深地雅也	共同担当者 :
-----------------	---------

<p>教育目標・</p> <p>ECサイトの基本的な仕組みを理解し、その重要性を理解する</p>
--

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ</p> <p>既存のECサイトについて分析し、購買につながる基礎知識をグループワークにて学ぶ</p> <p>所要コマ数 14コマ</p> <p>(講義 50%、グループワーク 35%、発表 15%)</p> <p>使用機材 : PC</p> <p>【講義内容】</p> <p>インターネットビジネスとは</p> <p>マーケットトレンド</p> <p>ブランドビジネス</p> <p>講義にて既存のブランドECサイト分析を行い、グループ単位で調査を行う。</p> <p>結果をプレゼンテーションし、フィードバックを行う。</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこのブランドECサイトをテーマとするか →なぜ、今このブランドの調査を行うのか。時事、コレクション、トレンドとの関係性 ・ECサイトのどこに焦点をあてるか →総合的に捉えることが必要 商品画像、購買層、価格帯、決済処理などを深掘りしていく。
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出席 70% 授業内課題 30%</p>

<p>主要教材図書</p> <p>その他資料</p>

<p> </p>

<p>記載者書名欄 深地雅也</p>

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 インダストリアルマーチャンダイジング科 3年	単 位	2単位
科目コード	科目名 グラフィックワーク 2	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 加藤 正人

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着けると同時に、各自の企画デザイン力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。ブランド企画に基づいた、ロゴ及びブランディングツール製作を通してグラフィックによるファッションブランディングの意識を養う。

【授業計画】

- (1) ブランドロゴの製作(8コマ)
 - ・CI(コーポレートアイデンティティ)について
 - ・ブランドロゴの機能と役割について
 - ・シンボル、図形、マークのデザイン製作
 - ・文字、タイプのデザイン製作
- (2) ブランディングツールのデザイン(7コマ)
 - ・各ブランディングツールの機能と役割について
 - ・商品下げ札(プロダクトカード)のデザイン
 - ・織りネーム(ブランドタグ)のデザイン
 - ・ショッパーのデザイン
 - ・自由製作
- (3) コンセプトビジュアルの製作(6コマ)
 - ・ブランドのコンセプトをビジュアルイメージで表現する。
 - ・画像のコラージュ、加工、編集による表現。
 - ・スタイリングマップの製作
 - ・イラストレーターによる写真の構成、エディトリアル
- (4) ブランド・シグネチャーパターンの製作(6コマ)
 - ・モノグラムデザイン
 - ・オリジナルテキストスタイル商品の企画デザイン
 - ・Illustratorによるオリジナルグラフィックパターン/柄の制作
 - ・柄の送り、四方連続リピート
 - ・柄の配色バリエーションの製作
 - ・柄のデザイン画、アイテムへの落とし込み
 - ・モックアップイメージへの展開
 - ・レイアウト、デザイン解説とまとめ
- (5) デジタルファッション画の制作(3コマ)
 - ・Photoshopによるファッションデザイン画、スタイル画の製作
 - ・Illustratorによる衣服製品図の製作
 - ・デザインの展開
 - ・デザイン画のまとめ方/レイアウト

使用ソフト

- ・Adobe Photoshop
- ・Adobe Illustrator

【評価方法】

- ・提出課題
- ・出席率、授業態度

主要教材図書・なし

参考図書・なし

その他資料・課題別各種プリント、作例

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル会社にてグラフィックデザイナーとして勤務後、フリーランスとして活動。
 ファッションブランド、ショップ等のグラフィック、イラスト製作を手がける。
 デジタルデバイス、グラフィックソフトによるファッショングラフィックの実践授業を実施。

記載者氏名

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` KG	科 名 インダストリアルマーチャングイング科3年	単 位	2単位
科目コード` 980031 980031	科目名 特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表) : 徳岡 慧	共同担当者 :
-----------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
レギュラー授業には含まれない関連分野の専門知識を習得する。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、テキスタイル企画 (2コマ)
- 2、DX リテラシー (6コマ)
- 3、メンズウェアの企画から立ち上げについて (1コマ)
- 4、日本の伝統技法(加工) (1コマ)
- 5、インターネットビジネス (6コマ)
- 6、副資材の知識 (1コマ)
- 7、マーチャンドライザーの知的財産権 (1コマ)
- 8、ビジュアルマーチャンドライジング表現 (6コマ)
- 9、メンズウェア概論 (1コマ)
- 10、アクセサリーの知識 (4コマ)

評価方法・対象・比重
出席状況

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 徳岡 慧

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG	科名 インダストリアルマチャングデザイン科3年	単 位	1 単位
科目コード 947300	科目名 コラボレーションc (自由選択)	授業期間	通年

担当教員(代表) : 徳岡 慧	共同担当者 :
-----------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 企業とのコラボレーションを通して、各自コンセプトに基づいたクリエイション性の高いデザインの表現力を向上させる。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ・企業とのコラボレーションにより自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。
 人と人との様々な繋がりや調和が必要となるため柔軟な人間力、コミュニケーション能力を身につける。

評価方法・対象・比重
 出欠、作品・発表・商品制作及びレポート提出

主要教材図書
 参考図書
 その他資料

記載者氏名 徳岡 慧

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG	科名 インダストリアルマーチャダイジング科3年	単 位	4単位
科目コード 970000	科目名 卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表) : 徳岡 慧	共同担当者 :
-----------------	---------

<p>概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーチャダイジング計画 (ブランド設定からプレゼンテーションまで) ・ブランド商品の開発 (デザイン開発及び製品製作)
--

<p>授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <p>プライベートブランドⅡの企画とし、2023A/Wのマーチャダイジング計画に基づき商品開発を行う。 (55コマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、デザイン・パターン・実物製作 2、卒業制作発表

<p>評価方法・対象・比重 制作物・出席状況</p>

<p>主要教材図書</p>
<p>参考図書 各種コレクション情報</p>
<p>その他資料 トワル仮縫い及び実物参考作品</p>

<p>記載者氏名 徳岡 慧</p>
